

明治二十年一月十八日現在

電話掛號 (特) 西一七三三
電信掛號 オイエ (又ハオ)
大阪市西區幸町通り二丁目
全 大家七平本店

0355

一 愛國丸の青島島船渠に入渠の上定明
検査及更國口ド社資格等級修
明司に於てマニラに行石考及コークラ
載り上一日十八日未明出航セリ
馬尼刺と称ラ右石考其外陸揚終
次等コークラと廻航し該地ニ未
滿船積載直ケル 神丸君の横濱
紋紋 (但し本年三月半日般般ノ般定)
美ナリ
其ノ後ハ未定ナルを引傍中「サイゴン」般
セムニ般定ナリ

明治 年 一月 十八日 現在

電話番號 (特) 西一七三三
電信番號 オイ工 (又ハオ)
大阪市西區幸町通り二丁目
全 大家七平本店

0356

一 泰 東 丸 祝 今 尾 長 園 平 田 港 石 炭
 (司 補) 陸 揚 中 今 月 沙 平 方 次
 兵 隊 出 帆 四 日 市 函 館 小 樽 小 樽 小 樽
 航 行 夫 司 兵 隊 小 樽 航 行 七 日 月 月
 沙 平 方 次 香 港 運 由 サイゴン 航 行
 サイゴン 米 満 船 積 載 上 横 濱
 航 行 小 樽 小 樽 小 樽
 但 し 横 濱 航 行 の 三 日 四 日 七 日 八 日 九 日
 十 日 廿 日 廿 日 航 行 未 定 ナリ

供覽

軍務

經理

軍令部

大商家船合資會社

明治三十年 月 日

大連才三子

海軍廣友加藤 大商家船合資會社

大商家船合資會社



徵船



二十日

揮

除... 有... 通... 官... 島... 支... 本...

日... 配... 船... 旅... 定... 去... 由... 下... 行...

官... 島... 丸... 自... 小... 支... 院... 伯... 中...

奉... 心... 十... 年... 不... 出... 帆... 神... 尾... 行... 三...

定... 期... 一... 日... 不... 改... 旅... 院... 行...

交... 納... 丸... 自... 小... 支... 院... 伯... 中...

貨... 物... 給... 付... 仕... 事... 務... 所... 奉... 命... 使...

第三



0357

三九

日本海線着発定期表

明治四十四年第一号

甲	門司	洪田	境	宮津	敦賀	浦沙	七尾	伏木	庚	新湊	函館	小樽	浦沙	城津	元山	釜山	門司
乙	小樽	函館	庚	新湊	伏木	七尾	敦賀	浦沙	宮津	境	洪田	門司	釜山	元山	城津	浦沙	小樽
	着	着	着	着	着	着	着	着	着	着	着	着	着	着	着	着	着
	午後	午前	午後	午後	午前	午後	午前	午後	午後	午前	午後	午前	午後	午後	午前	午後	午前
	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月	二月
	二十日	廿一日	廿一日	廿二日	廿二日	廿三日	廿三日	廿四日	廿四日	廿五日	廿五日	廿六日	廿六日	廿七日	廿七日	廿八日	廿八日
	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月	三月
	一日	二日	三日	四日	五日	六日	六日	七日	七日	八日	八日	九日	九日	十日	十日	十一日	十一日

明治四十四年二月
 大家商船會社

一、本表、都合、門司、小樽、浦沙、三港、除、外、
 各港、着、發、十二、廿、日、以、内、仲、站、ス、ル、ハ、レ、
 一、般、海、部、合、計、新、湊、及、伏、木、七、尾、等、港、順、序、
 一、般、海、部、合、計、ス、ル、ハ、レ、

一 次 如 妻 國 丸

去る年より、イギリス、香港、
米(地産物)格、中、
明、中、出、
在、
其、
分、
ラ、
一、
去、
不、

0362

今日中ノ出及び、後定ノ香港に
 由リサイオン行リ、サイオンに
 米(横濱移)林載、以テ、横濱
 (直販)三日月、老、所、ノ、
 其後、生向地、未定、
 公香港、此、
 後定、
 右、
 更、

0363

供

經理

部

真跡

研力海社社長愛國氏白書書完

此書是書其後之書其書定
此書以海社社長也

昭和四十年五月十日

大塚市西區寺町通三丁目

大塚書平

海軍省加藤友三郎所藏

大塚本古月氏

五四

0364

明隆慶元年五月一日現在

一 改定 海防 圖 九

去四月廿九日、紫旗、由香港、南
航行中、六月、上海、迄、引、増、中
紫旗、香港、海、航、海、徒、事、也、
六月、中旬、取、航、行、地、方、本
所、門、司、五、神、六、迄、下、改、定、
海、防、上、未、七、日、廿、日、改、定、
改、定、司、改、定、改、定、
改、定、東、改、
去、四、月、廿、九、日、ヨ、仁、明、若、為

大坂外五丁目

大塚本月用紙

中、ヒテ夫、トヨリ清國午家、
行、旅、地、中、ヨリ、梅、嶺、
橋、者、上、五、月、十、六、日、
横、濱、へ、出、立、其、後、
北、清、湖、岸、へ、使、
使、自、之、
石、
...

相違店
大塚

七倉小七

(大阪小島印刷部印行)

0367

供覽

軍務局

經理局

軍令部

大第三七 號

客年十二月廿一日付官房機密第五二

二号ノ二ヲ以テ契社船所在地御届

出可申上旨御通達ヲ蒙リ居候處

今般鳴丸交通丸ノ西船共大阪

商船株式會社賣渡契社モ不

日解散豫定ニ付左様御承知置

被成下度右旨延引為念御通知

申上候具

明治四十四年三月三日

船日大家商船會社

事務担当社員大家七平



0368

海軍次官加藤友三郎殿

0369

供

軍務局

經理局

軍令部

并給付

所為如左

行在

別

大

主任局員 加藤 第三班

海軍

大正六年三月

鐵船 六十七

0370

大塚家
 * 第十四号
 大塚市西区

大塚家本居月系

砂隠齋所了七月廿一日辰
 内司及神戶八坂女共ナリ

一決水邊東凡

五月廿五日男了向つて廿月同日果

御能念在(實)御了為い己末

神了(指)候(秋)候(西)候(徳)

小樽向(定期)候(後)候(從)事し

目下(秋)候(指)候(向)候(秋)候

在

以上

0373

信本平
* 日七月
田丁二邊町幸

新更の...
為可申...
大...
豊方

豊方

0374

供覽

軍務局

經理局

軍令部

海軍大臣



所記海軍大臣及海軍大臣

在東京總定級改等別紙

乃海軍大臣此級乃他之海軍也

海軍大臣

大正七年



海軍大臣



海軍大臣加藤友三郎殿

第三班



大正七年

0376

所在表

明治元年七月八日現在

汽船愛國丸

案同仕五邑東瓦哇沿岸に於て神戸
揚子荷物(枕櫃)搭載中にして西日に出
發本日古三回汽船に到るべし人神人
便航ノ豫定ナリ

同司神戶に於て荷物陸揚ケテ終るべ
更同司より香港ヲ經テ瓦哇沿岸
各港ノ航行セシメ九月末日迄
同司又神戶ノ便航ノ豫定ナリ

大正六年七月

0378

次水邊東北

大塚本川月系

取報の通下、同下尚日本郵船會社
 貸會借中、年專の張、月、横濱
 秋、横濱函館、陸、小樽、間、定期、秋
 海、陸、事、の、り、り
 信、會、借、期、間、の、自、由、事、也、満、了、後、
 秋、路、の、今、尚、山、事、定、了、り
 右、の、通、了、自、由、事、也

大塚七年一月

海運方



0379

急

先
軍令部長

次

第一班
第二班
第三班

副官
村松

參事官

五世

1944年五月二十八日起案

大臣
無

次官
藤田

軍務局長

局長

局員

松村

經理局長

局長

局員

松

總務部長

局長

第二部長

會計課長

電案

元山、羅津浦方面調査ノ為軍令部

每頁

2/15

0380

參謀一名該方面出張ニ付其符駈

逐船一隻ヲ約三週間豫定ヲ以テ其乘

用ニ充テシム事ナル様取中ナリ

明治四十年五月廿日 大臣

佐鎮司 会長友 托

電案

元山、羅津浦方面、出張ノ軍令部

參謀ハ森中佐ニシテ本月六日以佐世

係出張、豫定、日中佐元山到着ノ上

ニ水饗海軍港境域劃定、下調ヲ

(韻味納)

為ス一キニ付元山防備隊首將校ヲシテ
該境域ヲ日伴巡回セシムル様取計ハレタシ
者出費日時其他要細ノコトハ同中佐
ヨリ申出ル者

明治四年五月廿一日 次友

佐鎮系謀長 志

海軍

0382

軍電

報送達

軍紙

受信人氏名

局員

シムキヨウ

局

取扱者

受信

午後五時五分

七

午後四時五分

五月廿七日

第一

廿七

報

友

指定

注意

受信人氏名

他人へ宛タル電報 配達ヲ受ケタルモノハ此山ヲ符
箋シ直チニ此ト記達シタル電報局へ返戻スベシ
決シテ其ノ本大
又ハ
カ
ラ
ズ

事記

白野田

五月廿七日

0383

元山羅津浦方面ニ駆逐
艦派遣、件々支ナシ

五月二十四日

佐野春雄

軍務局長

海

○山名ノ所 ●其地ノ實ニハ 高津ノ了也
海軍

三山羅浮嶺ノ其附近ニ高津ノ所あり
可令部ノ所ニ高津ノ所あり上ノ自派
也出派ノ所下ノ自派ノ所あり
約三ノ所ノ所あり上ノ所あり下ノ所あり
西ノ所あり上ノ所あり下ノ所あり
佐藤七也


高ノ所あり上ノ所あり下ノ所あり
高津ノ所あり上ノ所あり下ノ所あり
高津ノ所あり上ノ所あり下ノ所あり

右
軍令部長 

次長 

第一班 



副官 

 參事官

1944年5月9日起案

發付
五廿九日

大臣

次官 

軍務局長 

局員 



電索

高千穂艦砲教練射撃施行ノ上横

海軍

0386

須賀

須賀、田航、付差支ナシ

明治三十年五月廿八日

次官

南清社員の会官

也

官房第二五七號

案

別紙ノ通、南清社員の会友より電報の付出

有之、其ノ旨、及返答を候條

為合時及、且、詳如也

明治三十年五月廿九日

次官

横領事務長

也

0387

0388

電 五月初八日

海

田中

大臣 上海 南洋艦隊司令官

軍務

高千穂 明日上海發途中約音
 同艦能 砲練射擊ヲ施行、止
 此ノ旨 返電シテ云々
 田中

IMPERIAL GOVERNMENT TELEGRAPHS

(Delivery form)

Station <u> </u> Office No. <u>69</u>	Address <u> </u>
Received Time <u>noon</u> Date <u>28.5</u> 19 <u> </u>	<u> </u>
By <u> </u>	<u>Hafuzono</u> <u>Tokio</u>
Class <u>S</u> Original Office <u>Shanghai</u>	Remarks <u> </u>
No. <u>175</u> Words <u>13</u>	<u> </u>
Date <u>28.5</u> 19 <u> </u> Time <u>10 a</u>	<u> </u>
<p> Ja a asukatsu tochiyaku muikakan kanpokyoren shafekiseko nouyeyoko -buka nikakos esime sasitsukage nakiyasirikae si gohendenkou nake </p>	

0389

奉送注意

東京三浦印行

海軍

雜記

市兵部、高田、向、高橋、板橋、多摩、世、山、
谷、到、着、見、込、平、陽、丸、下、横、水、等、向、下、河、津、河、本、
谷、以、此、及、口、向、本、谷、也、

軍務局

明治四十二年五月二十二日、於區、知、事、
下、野、村、知、事、

人事局

海軍省、平塚、亮、
官、

平塚、亮、

0390

雜報事項



舞鎮第...二〇號

供覽



軍務局

人事局

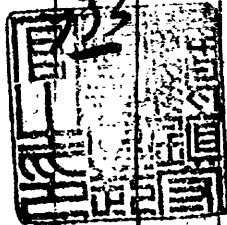
軍令部

報告

金剛吳佐世保回航豫定左記日刻通、浪
系此段報告候也

明治四十年五月二十八日

海軍大臣 齋藤實殿
長官日高壯之丞



齋藤實殿

地名

著

癸

舞津

美保

五月廿九日

五月二十八日

三十日

0391

安下庄	吳	德山	佐世保	郷浦	油石	美保湾	津居山	粟鶴
五月三日	六月一日	六月四日	六月六日	六月七日	六月八日	六月十日	六月十一日	六月十一日
六月一日	六月四日	六月五日	六月七日	六月八日	六月九日	六月十一日	六月十二日	

0392

海軍

供



警備部

第七

村松

海

軍

軍務局

四十年七月廿三日 豊橋第二潜水艇隊行動

報告書

人事局

豊橋第七潜水艇隊七月十日同甲

也 方面へ出動、報告、自給及報告候

高瀬谷へ派兵、七月下旬、於て全方面へ出

発、七月廿七日、於て中隊候

明治四十年五月二十九日、於て

豊橋艦長井出謙治

海軍省別府村と格一級

0393 6-1

竹葉第四一六號、三

報告
第十艇隊

敬言備艇第三十七号

同 第三十八号

同 第六十号

同 第六十一号

右韓國南岸巡航之候補奈其段及報告候也

明治四十年六月三日

軍令部長

次長

第三班

海軍大臣齋藤實

海軍大臣齋藤實

海軍大臣齋藤實

海軍大臣齋藤實

軍務局

人事局

軍令部長



局員



海

月



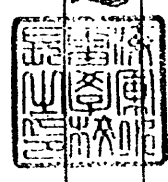
0395

海軍水
陸學校
普華三八七號

山登警第10号

六月五日遊邊

驅逐形山登五月中出港報告



月日	五	四	三	二	一	九	八	七	六	五	四	三	二	一
出港地名	長浦	長浦	長浦	長浦	長浦	長浦	長浦	長浦	長浦	長浦	長浦	長浦	長浦	長浦
時分	廿一〇	廿一〇	廿一〇	廿一〇	廿一〇	廿一〇	廿一〇	廿一〇	廿一〇	廿一〇	廿一〇	廿一〇	廿一〇	廿一〇
港地名	長浦	長浦	長浦	長浦	長浦	長浦	長浦	長浦	長浦	長浦	長浦	長浦	長浦	長浦
時分	廿一〇	廿一〇	廿一〇	廿一〇	廿一〇	廿一〇	廿一〇	廿一〇	廿一〇	廿一〇	廿一〇	廿一〇	廿一〇	廿一〇
記事	長浦出港	長浦出港	長浦出港	長浦出港	長浦出港	長浦出港	長浦出港	長浦出港	長浦出港	長浦出港	長浦出港	長浦出港	長浦出港	長浦出港

教育本部

軍務局

海軍

0397

三	二	二	三	三	一	一	一	一	一
三	江	三	三	三	清	三	三	三	長
九	七	二	十	六	九	六	九	八	九
山	島	島	島	島	水	島	島	島	島
五	一	一	一	一	九	七	一	一	三
									豊原

0398

山

軍務局

人事局

軍令部

供覽

海軍大臣の御下

局長

佐野

第10回

警備隊

隊

小倉

小倉

小倉

小倉

次長

右野

第1班
第2班
第3班

竹野
竹野
竹野

竹野
竹野
竹野

海軍大臣の御下
海軍大臣の御下

海

海

0401

雜
項
齊

軍務局
能

長崎	大連	大連	旅順	大連	長崎	佐世保
着	発	着	発	着	発	着
午 前	午 後	午 後	午 前	午 前	午 後	午 前
六月十八日	六月十五日	六月十四日	六月十四日	六月十五日	六月十八日	六月十七日
七月十一日	七月八日	七月七日	七月七日	七月五日	七月二日	七月一日
七月二十日	七月二十日	七月二十日	七月二十日	七月二十日	七月二十日	七月十四日
八月七日	八月四日	八月三日	八月三日	八月一日	七月二十日	七月二十日

佐世保旅順線薩摩丸定期表

明治四十年六月十五日

0402

備考 一 佐世保 祭 八 午前十一時トス 二 大連 行 長崎 度 八 午後十一日 公 四 時 トス 佐世保海軍港務部	長崎	祭	六月二十日 後	七月十一日 後	七月十四日 後	八月七日 後
	佐世保	着	六月二十日 後	七月十一日 後	七月十四日 後	八月七日 後
			午	午	午	午
			後	後	後	後
			日	日	日	日
			日	日	日	日
			日	日	日	日
			日	日	日	日

0403